ふくしま
授産事業振興会だより

第２１号
平成２０年８月発行
（発行者）
福島県授産事業振興会
授産事業支援センター
http://www.f-jusan.jp

〒960-8065　福島市杉妻町５番 75 号　TEL 024-523-1414　FAX 024-523-1432　E-mail：info@f-jusan.jp

変革の時だからこそ協力を！

福島県授産事業振興会
会長　高　村　トミ子

会員の皆様にはお元気ですか。

２０年度も早いもので５か月を過ぎようとしております。

さて、一昨年の４月に障害者自立支援法が施行されまして、法定施設も小規模作業所も同法に基づく事業所等への移行という大波のうねりの中に翻弄されております。また、施設の収入減、運営の不安定（月割より日割）に拍車をかけるように景気の低迷、その上身近な品やガソリン代、食糧品等、毎日値上がりの記事を目にしない日はないほどです。

当振興会においては、障がい者の社会参加促進や工賃アップ等のため、アンテナショップや展示即売会を開催しておりますが、如何せん売上げが伸びず、更に今夏のアンテナショップ「福祉の店いわき」は店舗内改装により開催ができず、大打撃を受けております。

この４月に県より、障がい者の工賃向上を支援する「工賃向上支援事業」の一部を受託し、利用者の工賃向上等に取り組むため経営相談員が配置になりました。この機会に是非、自分の施設の内部の見直しと、やり方、在り方等の再検討をして見てはいかがでしょうか。きっと見落ししているところ、気付かずにいるところがあることでしょう。

この時代だからこそ、仲間が手を携え、研修しあって、良い製品づくりに励んではいかがですか。

今後とも皆様の力を結集し、会を盛り立ててまいる所存であります。なお、一層の御協力御支援をよろしくお願い申し上げます。

＊＊

ご　あ　い　さ　つ

福島県保健福祉部
部参事兼障がい福祉課長
安　海　好　昭

本年４月に障がい福祉課に参りまして、早くも５ヶ月が過ぎようとしております。福祉は初めて担当する分野であり、難しいと思う反面、やり甲斐を感じる今日このごろです。

さて、障がいを持つ方の生き甲斐や自己実現を図るという観点から、県では「地域生活移行」を推進しておりますが、その実現のためには障がい者に対する地域の理解を深めるとともに生活の場や日中活動の場づくり、そして所得の確保が必要です。

このため、本年３月に「福島県障がい者工賃向上プラン」を策定し、各事業所における工賃向上に向けた様々な取組みを支援することといたしました。その一環として、福島県授産事業振興会に２名の「経営相談員」を配置し、各事業所からの相談に当たっていただいており、今後の活動に大きな期待を寄せているところです。

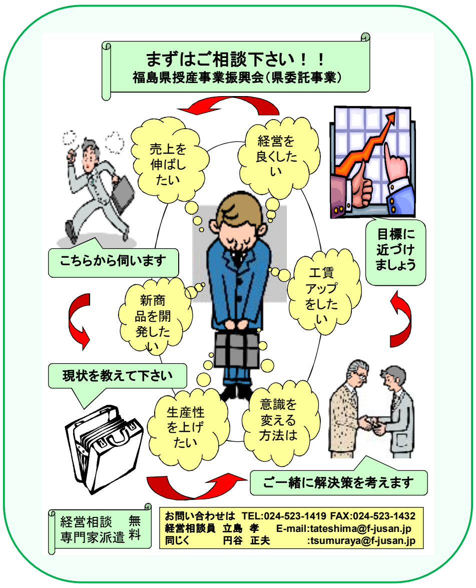
原油高に伴う燃料費の高騰や原材料費の値上がりなど大変厳しい状況にありますが、障がいを持つ方が地域において生き生きと生活できるよう、さらなるご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げごあいさつといたします。

経営相談員が配置になりました

本会は、県より平成２０年度から３カ年間「障がい者工賃向上支援事業」の一部事業（相談員設置事業・専門家派遣事業・ビジネススキルアップ研修事業）を受託しました。

本事業は、「福島県障がい者工賃向上プラン」の実現を図るため、授産施設等における障がい者の工賃向上及び一般就労への移行促進を具体的に推進するものであります。

その推進役を担って頂く、経営相談員に今の「キモチ」を語って頂きました。



「工賃向上。３つの条件？」　　経営相談員　立島　孝

４月から、いくつかの施設にお邪魔した中で、工賃向上の「ハナマル印」をご紹介します。

１．Ａ施設を訪問、数箇所の事業所を見学し、いろいろ教えていただいた。翌日、礼状と各種資料が届き、一緒に後援会の案内と会費振込依頼書が付いていた。これが大正解！すぐやる、この行動力がすばらしいし、営業センスはバツグン！

２．Ｂ施設の責任者がデパートに出展、ひとりでファッション商品を販売していた。聞いたら、過去に販売職の経験はないと。ただ、施設運営のために売らねばならない。だから度々東京まででかけ、最新の商品・顧客情報を入手し、お客様に案内状を出し、お客様の声に耳を傾けるということをしていると。「売り」への執念と「顧客」への接近。実践の大迫力でした。

３．Ｃ施設では、利用者に名刺を持たせ、自主制作商品等の営業に行かせることも。保護者のほうがハラハラするようだが、キチンと教えると、しっかり売ってきますよと。

Ｄ施設では、利用者の能力査定を基に、個人目標を決め、作業の区切りでリーダーに報告、認印をもらうしくみを採っている。ハンコとリーダーの一声がポイント。もちろん工賃は上位ランク。

Ｅ施設では、役割分担と目標を決め、少しの体調不良でも、施設に来ることを約束し、 実行すると、利用者も達成感と工賃のありがたさを強く感じるものですと。「ウチの子にはできない」と思い込んでいたお母さんが、その子からケータイをプレゼントされ、感激した話や、多くはない工賃から妹の成人式のお祝いを出してあげたことなど、いい話も。

都合のいい事例を採った感じだが、実はこの１．行動の重視。とにかく行動することが大事。２．顧客志向。目的は顧客に価値を提供すること。３．ヒトの重視。その行動はヒトによってなされる。ヒトと組織の成長を図ることが重要。の３項目は、一般企業のうち、卓越した業績の「エクセレントカンパニー」企業に共通する３大項目なのだ。こう眺めてみると、障がい者施設にも、各所に「エクセレント施設」ができる可能性は大いにある。工賃もその一条件であり、微力ながら精一杯の支援をしていきたい。

「経営相談員からのご挨拶」

経営相談員　円 谷　正 夫

今年の４月から『福島県障がい者工賃向上プラン』で経営相談員となりました円谷(つむらや)正夫です。宜しくお願い致します。

私の役割は、１．事業所支援　２．専門家派遣の調整などを通じ、大きくは障がい者の自立と社会参加を促進することであり、目標の第一は障がい者の工賃アップと考えます。仕事を進めていく上で次の３点を念頭において行動していきたいと考えております。

１．福祉＋経営の視点で、よろずご相談を承ります。「よろず」とは。「経営を良くしたい」「商品・サービスの売上を伸ばしたい」「新しい商品を開発したい」「作業効率を上げたい」「職員などの意識を変えたい」・・・です。

２．ご相談は事業所に訪問して行います。現場で、事業所の悩みに合わせたご相談を致します。

３．現状を教えてください。相談者の方と同じ目線で考え、アドバイスして行きたいと考えます。課題によっては、持ち帰ってお返事をしたり、専門家などの派遣も検討致します。

第１４回福島県授産事業振興会通常総会について

平成２０年４月１５日（火）に福島市の福島県総合社会福祉センターにおいて、第１４回福島県授産事業通常総会を開催いたしました。総会には、会員９７名（委任状を含む。）が出席し、下記の提案議題について審議が行われ、 原案のとおり可決されました。

本総会の提案議案は、次のとおりです。

議案第１号	平成１９年度事業報告書並びに収入支出決算書について 監査報告
議案第２号	福島県授産事業振興会定款の一部改正（案）について
議案第３号	福島県授産事業振興会会員規程の一部改正（案）について
議案第４号	平成２０年度事業計画書並びに収入支出予算書（案）について
議案第５号	平成２０年度特別事業計画書並びに特別収入支出予算書（案）について
議案第６号	福島県授産事業振興会役員の選任について

施設紹介

オープンハウス白河　「オープンハウス白河の作業を紹介します」

こんにちは！オープンハウス白河は旧法の知的障がい者通所更生施設です。

今回はオープンハウス白河の作業について紹介します。

作業は個人の希望、能力や個性を考慮し内職班、手芸班、ボール園芸班、個別班の４班に分かれています。

内職班では弱電部品の組立を行っています。８人のメンバーで６つの行程をローテーションで進めます。細かい作業で器用な方達が頑張っています。

手芸班ではイベント等での販売を目的とした製品作りを行っています。中でもみのむしキーホルダーは小さなお子様からお年寄りの方達まで幅広く人気があります。フェルトを使用した温かみのある可愛らしいキーホルダーです。

ボール園芸班ではショッピングセンターに設置されているお子様用のボールプールのボール洗浄と、無農薬の野菜作りを行っています。給食で使用したり、今年から少しずつ販売も始めました。

最後に**個別班**は主に自閉症の方達の班です。得意とするものを取り入れ、ビーズブレスレット・木工磨きやパズル等を行っています。

機会がありましたら、是非、お気軽にお立ち寄り下さい。

（内職班）

（手芸班）

（ボール園芸班）

（個別班）

ゆうゆうハウス　「施設を取り巻く現状」

ＮＰＯ法人いきいきサポートつくしんぼゆうゆうハウスは、会津北西部に位置し、人口２万人弱の会津坂下町に現存している。

１０年前に家族会、ボランティアサークル、町の職員、保健師さんらによって立ち上げられた。始めの５年間は、体制作りに費やされた。

１０年目を迎え、毎年交替していたスタッフも安定し、主に家族会、ボランティアサークル、町の保健師さん、県の保健師さん、医療機関との連携を取りながら、ようやく今日に至った。

会津坂下町から地域活動支援センターの委託を受けて今年で２年。日中の活動の場としての提供はできてきた。ひとり暮らしの方も多く、老後の生活に不安を感じている方も多い。生活の場も必要不可欠のようだ。

今後、地域でのネットワーク作りをしっかり準備し、今できる事。今やっておくべき事。今しかできない事の分類にしっかり取り組んでいかなければならない。

施設紹介

はまなす荘　「新しい取り組みについて」

社会福祉法人いわき福音協会知的障がい者更生施設（旧法）はまなす荘では、自主製品として、さき織りでの工芸品・菓子類・農産物を作り、受託事業としては、公園の清掃・花の植栽管理、ゴムの袋詰め作業等を行っております。

はまなす荘は更生施設ですので、自立支援法における新しい福祉サービス体系移行に向う状況にあり、日中活動は、生活介護・自立訓練に重きを置かなければならず、製品作りについて、今までのように施設内作業として継続していくことは難しくなってくるものと思われます。そのため、今年度より新しい取り組みの一つとして農産物作りは同法人の就労継続事業所と共同で行ない、その他の製品作り・受託事業についても、実施方法を検討する時期にきております。

もちろん、製品作り・受託事業に関することは、利用者にとって日中活動の場としても地域生活移行後の活動としても、今までと同様に重要事項でありますので、他施設と連携を図り出来得る限りの製品作りを続けながら利用者の生活支援を行っていきたいと思っております。

あだち共労育成園　「こんにちは。あだち共労育成園です」

あだち共労育成園は、昭和５９年４月に開所、今年で２４年目を迎える知的障害者の通所授産施設です。場所は安達郡大玉村の国道４号線沿いにあり、近隣市町村より現在３７名の方が利用されています。

開所当初より木工作業と菓子箱折り作業を中心として授産活動を行ってきました。特に木工作業は、木工の専門職員を配置し、一般家具から教会、幼稚園等のテーブル、イス等を注文に応じて製作、子供用玩具の木馬、積木、パズル等のおもちゃの製作販売も行っています。また現在は、アームカバー、お弁当入れなど布製品の制作販売も行っています。

木工製品をお買い求めいただいた皆様から「木はぬくもりがあり、木工製品はいいですね。」の声をいただき、毎日の作業の励みとなっております。しかしながら、木工製品の販売は横ばい状況であり頭を悩めているのが現状です。

地域の利用者さんの「働きたい」「自立したい」を援助できるように、売れる製品作りや販売の仕方について、専門家のアドバイスをいただきながら取り組んでいるところです。

（木工作業）

（菓子箱折作業）

（縫製作業）

（さをり織り作業）

展示即売会・アンテナショップ計画表

平成２０年９月～２１年２月

区分	イベント名称	時期	会場
展示即売会（方部別）	県北方部展示即売会	10／４（土）・５（日）	中合福島店
	〃	11／３（土）	福島ふれあい広場
	県中方部展示即売会	９／13（土）・14（日）	イトーヨーカドー郡山店
	〃	12／６（土）・７（日）	ジャスコ郡山フェスタ店
	会津方部展示即売会	９／27（土）・28（日）	中合会津店
（イベントへの参加開催）	福島県高齢者福祉大会	９／９（火）	福島県文化センター
	福島県障がい者技能大会	９／20（土）	職業能力開発促進センター
	全国生涯学習フェスティバル	10／11（土）～15（水）	ビッグパレットふくしま
	福島県身体障がい者福祉大会	10／17（金）	喜多方プラザ
	第６２回福島県社会福祉大会	10／23（木）	南相馬市市民文化センター
	ふくしまボランティアフェスティバル	11／８（土）	パルセいいざか
	福島県高齢者芸能発表大会	11／12（水）	会津風雅堂
	第２６回保育・子育ての集い	11／22（土）・23（日）	いわき明星大学
	福島ヤクルト新年大会	１／10（土）	ウェディングエルティ（福島市）
	日赤「血液感謝デー」	２／15（日）	日赤福島県支部
アンテナショップ	ウインターシリーズ福祉の店郡山	１／14（水）～２／12（木）	イトーヨカドー郡山店
	ウインターシリーズ福祉の店いわき	11／19（水）～12／18（木）	ヨークベニマル谷川瀬店（予定）

情報コーナー

◎ 平成２０年度（第１１回）授産施設新製品（商品）開発コンクール及び
平成２０年度（第１３回）授産施設関係職員等研修会について
平成２１年１月３１日（土）～２月１日（日）に飯坂ホテル聚楽（福島市飯坂町）において開催いたします。
コンクールの応募と研修会の参加をお待ちいたします。

編集後記

平成２０年４月から「障がい者工賃向上支援事業」の一部を振興会が受託し、経営相談員等による助言等が行われております。

授産事業が改革・発展し混沌とした時代を、今後、授産施設等が生き残っていけるよう大いに本事業を活用するとともに、我々職員は日々の努力を忘れずに精進していきたいものです。

運営委員会広報部会